

みまっぱ通信

みまさかだいがく子育て情報



夏が終わり、あっというまに秋です。
運動会シーズンも終わりました。
子育てカレッジが夏から秋に3回あったので、
いろいろな写真を紹介します。

7月1日は67組
151人の参加でした。





7月3日はJA津山の
アンパンマンクラブの皆さんが
約150人集まってくれました。



9月25日は「パパと遊ぼう！
親子で運動あそび」があり
ました。34組104名参加
されました。



パパと遊べ
て楽しかっ
たです！



ちょっと一言

子どもはまねの名人～子どもと音楽的発達

音楽的発達についてハーグリーヴス(1996)によれば、2才になる頃までには旋律のおおまかな輪郭を認識すると言われています。そして3才の前後には既存の歌をだいたいの輪郭で再現して歌い、旋律の音高や輪郭の特質を全体的に捉えると言われています。5才を過ぎると既存の歌の構造を把握し、旋律のいろいろな属性を記憶したりもできるようになります。思っているよりも早いうちから、音楽に対する認識力があるようです。

ではどうしたら、音楽的発達をうながすことができるのでしょうか。それは経験的に知っているように、子どもに対する「語りかけ」や「歌いかけ」を愛情をもって行うことに尽きます。目立った反応はないように見えても、実は頭のメモリーは動いているからです。そして、いつの間にか、歌の歌詞や音程やリズムはもちろん声色や音楽的表現そして歌う時の身振りや顔の表情まで、歌いかけてくれる大人をコピーするのです。

日本の芸能の大成者である能役者の世阿弥は「風姿花伝」の年来稽古の中で、「七歳（満5～6歳）で稽古をはじめると」という見解を取っていますが、上に書いたように「5才を過ぎると既存の歌の構造を把握し、旋律のいろいろな属性を記憶できる。」とするハーグリーヴスの見解とも一致するように見えます。日本では、その後、世阿弥の見解が尊重され、伝統邦楽では6才の6月6日からお稽古を開始するのが良いとされています。

最近の研究とも一致する日本の知恵は流石ですね。

すてきな絵本紹介

寒くなってきました。

ゆっくりお風呂にはいって、湯船でこんなお話をしながらからだを温めて、スキンシップと創造性の2つ！

一挙両得しませんか!!

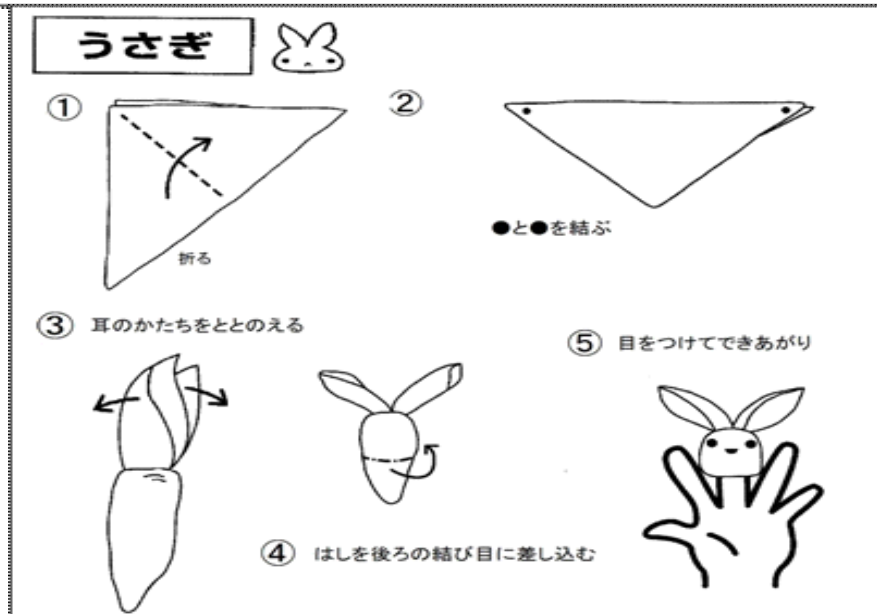
(西村敏雄 作 福音館書店)



★★ハンカチあそび part1★★

ちょっとした待ち時間に、スマホで遊んでいるお子さんを見かけます。
そんな時、ハンカチを取り出して、ちょっと魔法をかけておもちゃに変身！

そんな、時間を過ごしてほしいです。



今年最後の親子で運動あそびは11月4日です。
11月6日はJ A津山のアンパンマンクラブの
親子で運動あそびがあります。



(発行 みまさか子育てカレッジ実行委員会)